

いちご「スカイベリー」の導入意識と情報源

1. 成果の要約

県内における「スカイベリー」の普及状況が異なるいちご生産部会3部会に対するアンケート調査の結果では、「スカイベリー」の導入者は技術や品種を平均よりも早く導入する生産者が多かった。また、栽培技術の情報源としては、導入者はJA営農指導員や普及指導員から直接得られる情報を重視していたが、「スカイベリー」の導入を決めた際に最も重視した情報源としては、「スカイベリー」を導入した生産者からの情報が最も多かったことから、新品種を導入した栽培事例が導入に影響を持つと考えられた。

2. キーワード

品種導入、技術導入、導入者、未導入者

3. 試験のねらい

本県のいちごは、「とちおとめ」1品種が栽培されてきたが、新品種「スカイベリー」が育成されたことにより、2品種を作付けする生産者が増加してきた。そこで、新品種「スカイベリー」を導入するに当たっての導入意識や情報源について明らかにする。

4. 試験方法

新品種「スカイベリー」を導入している農協いちご生産部会を対象にアンケート調査を行った。調査対象は、「スカイベリー」の平成25～29年産における普及状況を考慮し、①実証栽培では導入が進まなかったが現在は増加傾向のA部会、②実証栽培から導入が進み現在も導入率が高いB部会、③実証栽培から導入が進んだが現在は縮小傾向のC部会の3部会を選定した。なお、県では平成25、26年産を実証栽培とし、平成27年産から一般栽培とした。平成29年7月に調査対象の3部会へアンケートにより、技術および品種導入の早さに関する意識、栽培技術やスカイベリーの導入時の情報源などを調査した。

5. 試験結果および考察

- (1) 「スカイベリー」の導入状況は、A部会では平成25～26年産は導入戸数が少なかったが、平成27年産以降導入戸数、栽培面積ともに増加傾向にあった。B部会では、平成25年産から導入が進み、現在も栽培面積が増加していた。C部会では、平成25年産から導入が進んだが、平成27年産以降導入戸数、栽培面積ともに減少していた(図)。回収率は、A部会では78.6%と高かったのに対し、BおよびC部会では約50%であった(データ省略)。
- (2) 技術や品種導入に関する早さに対する意識は、いずれの部会でも導入者が未導入者に比べて技術や品種を平均よりも早く導入することが多いと回答した。「スカイベリー」の導入が早い部会ほど、部会内の技術や品種を平均より早く導入したり、一番最初に導入したりする生産者の割合が高かった(表-1)。
- (3) 栽培技術の情報源として重視しているものは、いずれの部会も導入者はJA営農指導員や普及指導員からの情報で、次いで、配付資料や部会内生産者からの情報を重視している傾向がみられた。また、未導入者では、C部会は導入者同様にJA営農指導員や普及指導員からの情報が多かったのに対し、AおよびB部会は部会内生産者からの情報を重視する傾向がみられた(表-2)。
- (4) 導入を決めた情報源は、いずれの部会も先にスカイベリーを導入した生産者からの情報を最も重視していた。また、JA営農指導員や普及指導員からの情報では、配布資料に比べて直接得られる情報を重視していた(表-3)。

(担当者 いちご研究所 企画調査担当 大森雅子*、大橋幸雄)

* 現農業環境指導センター

いちご「スカイベリー」の導入意識と情報源

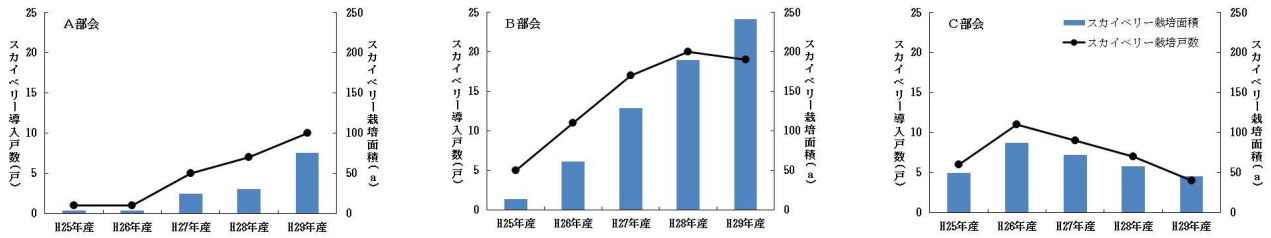


図 調査部会別のスカイベリー導入戸数と栽培面積の推移

表一 技術導入及び品種導入に関する早さに対する意識 (%)

部会	スカイベリーの栽培	技術導入に関して*							品種導入に関して*						
		ア	イ	ウ	小計	エ	オ	合計	ア	イ	ウ	小計	エ	オ	合計
A	導入者	12.5	25.0	25.0	62.5	37.5	0	100	0	50.0	37.5	87.5	12.5	0	100
	未導入者	15.4	15.4	7.7	38.5	46.2	15.4	100	0	7.7	15.4	23.1	46.2	30.8	100
B	導入者	14.3	28.6	42.9	85.8	14.3	0	100	26.7	40.0	33.3	100	0	0	100
	未導入者	3.8	15.4	19.2	38.4	53.8	8.8	100	0	26.9	11.5	38.4	57.7	3.8	100
C	導入者	66.7	0	33.3	100	0	0	100	66.7	33.3	0	100	0	0	100
	未導入者	0	26.1	28.3	54.4	37.0	8.7	100	6.7	22.2	11.1	40.0	42.2	17.8	100

※ア：部会内で一番最初に導入することが多い イ：最初の方だが、他の人がやったのを見てから導入する
 ウ：平均より少し前のことが多い エ：平均より少し後のことが多い
 オ：最後まで導入しない方だ

表二 栽培技術の情報源として重視しているもの（2つまで回答可） (%)

部会	スカイベリーの栽培	情報源*													回答数/人
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	
A	導入者	16.7	33.3	0	0	16.7	16.7	0	0	16.7	0	0	0	0	1.5
	未導入者	15.0	32.5	5.0	3.8	33.8	2.5	5.0	0	1.3	0	1.3	0	0	1.7
B	導入者	25.0	31.3	6.3	0	18.8	6.3	0	0	0	6.3	6.3	0	0	1.8
	未導入者	12.5	20.8	8.3	0	25.0	0	16.7	0	0	4.2	12.5	0	0	1.8
C	導入者	15.4	34.6	3.8	0	26.9	0	11.5	0	3.8	0	3.8	0	0	1.7
	未導入者	29.2	35.4	2.1	6.3	14.6	0	0	0	8.3	0	0	0	4.2	1.8

※ア：JAや普及からの配付資料 イ：JAの指導員や普及指導員からの情報 ウ：インターネットからの情報
 エ：部会役員 オ：部会内生産者 カ：部会外生産者
 キ：資材業者 ク：流通関係 ケ：研究会
 コ：グループ サ：専門誌 シ：一般メディア
 ス：その他

表三 スカイベリー導入時の情報源として重視したもの（ひとつだけ選択） (%)

部会	情報源*						
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
A	14.3	28.6	42.9	0	14.3	0	0
B	14.3	14.3	71.4	0	0	0	0
C	18.2	36.4	36.4	0	9.1	0	0

※ア：JAや普及からの配付資料 イ：JAの指導員や普及指導員からの情報
 ウ：先にスカイベリーを導入していた生産者からの情報 エ：生産者からの口コミ情報
 オ：部会内生産者 カ：部会外生産者
 キ：その他